

理學博士 牧野富太郎 創始 主幹 藥學博士 朝比奈泰彦

植 物 研 究 雜 誌

THE JOURNAL OF JAPANESE BOTANY

第 28 卷 第 1 號 (通卷 第 300 號) 昭和 28 年 1 月發行

Vol. 28 No. 1 January 1953

朝比奈泰彦*: 地衣類雜記 (§ 88—§ 89)

Yasuhiko ASAHINA*: Lichenologische Notizen (§ 88—§ 89)

§ 88. *Peltigera nigripunctata* Bitter (コヒラミツメゴケ新稱) の本土に於ける産地 (Occurrence of *Peltigera nigripunctata* Bitter in Hondo.)

表題に掲げたツメゴケの産地は Bitter (Ber. Deutsch. Bot. Ges. 27: 194 [1909]) が北海道産の Faurie 採品 No. 643 を基礎とし新種として発表したもので、其後 Rock の雲南採集品を検査した Gyelnik が其 No. 11760, May—October 1922 を此種と同定し第二の産地として記述した (Magyar Botanikai Lapok = Ungar. Bot. Blätter, 1927: 45)。此地衣は其後永い間吾人の視界を逃れツメゴケ類の研究者犬丸愨氏が植物分類地理 12: 1-16 (1943) に日本産ツメゴケ属の検索表を發表した際も此標本は未見で Faurie 標本中に見當らないと書いて居る。

筆者がコヒラミツメゴケと新和名を與えた此地衣は中形或はむしろ小形に近い葉體を有しゴニディアは緑藻で、表面に顆粒狀の頭狀體をもつて居り、子器はヒラミツメゴケ *P. horizontalis* のように水平の位置を保つものである。筆者は昨年夏所藏のツメゴケ属の腊葉を整理した際ヒラミツメゴケの内に片附けられて居た二箇の標本:

武蔵三峰山, Jun. 6. 1925, Leg. Y. Asahina,

信州八ヶ岳, May 30. 1926, Leg. Y. Asahina,

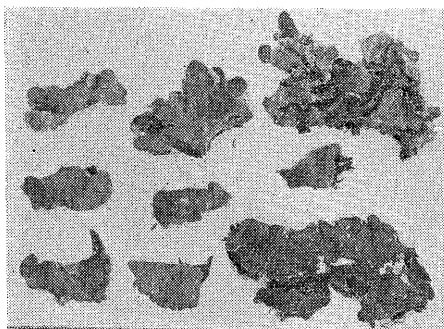
はゴニディアが緑藻で表面に顆粒狀の頭狀體があり、胞子は圓筒狀で殆ど眞直又は稍曲り通常 4 室で大きさは $40-50 \times 6-8 \mu$ であるので一應 *P. nigripunctata* と同定する。唯茲に保留して置きたい件は八ヶ岳産のものは *nigripunctata* の記載とよく一致するが、三峰産の方は葉質が少々厚手で表面殊に邊緣に近く綿毛を帯びている。此性質は *nigripunctata* の記載にないので或は種が異なりはしないかと云う懸念がある。此點後日もつとよい標本で検査する必要がある。

Gyelnik は雲南産の標本には裏面にも頭狀體のあるのを理由に *f. hypocephalodiata*

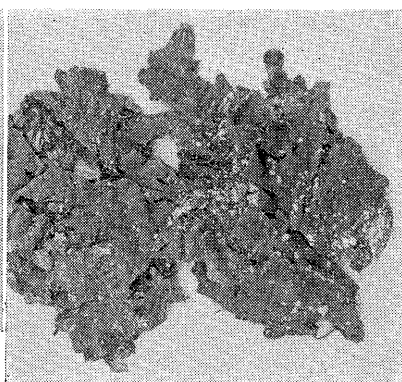
* 資源科學研究所 Research Institute for Natural Resources, Shinjuku, Tokyo.

Gyeln. と云う品種を作つた。上記日本産の二標本は相當陳舊品なので確實には分別できないが裏面をルーペで搜すと頭狀體らしきものも見られるので、Bitter のタイプも恐らく同様で頭狀體は上下兩面にあるのが當り前なのではあるまいか。依て筆者は茲に此稀種の外形寫眞を掲げて採集家の注意を喚起して置く。

尙此問題に關聯して Hue が實に不可思議な記述をして居るのを附記したい。Hue は Lichenes Extra-Europaei の No. 364 で *Peltigera horizontalis* の記載を行つた時参考標本としては Faurie 標本 No. 9465 (禮文島), No. 614, 640, 642 (何れも北海道), No. 501 (富士山) を引いて居り、其解剖的の記事中 stratum gonimicum と云う語があるので藍藻を意味して居るに不拘、葉體の表面に nostoc 型の藻を含む頭狀體 (大小 0.6—1—2 mm) の顆狀があると云つて居る。但し Hue 自身も此點 Forssell の頭狀體の定義 (母體地衣のゴニディアは常に綠藻である) に矛盾すると認めて居る。而して最後に日本産 No. 614 pr. p. は葉體が狭く且つ薄く表面に小顆粒を散在して居ると特に明記して居る。Bitter が *nigripunctata* を作つた基礎は Faurie 標本 No. 643 であることを考えると、或は Hue は既に此種を手にしなから、而も *horizontalis* に有り得べからざる頭狀體を認めながら、子器の形狀のみにとらわれて一步前進することができなかつたのではあるまいか。筆者は最近京都大學植物學教室を訪れて Faurie 標本のツメゴケ類をよく搜したが No. 614 も No. 643 もなく此間の消息を實物で闡明することができなかつたのは遺憾である。



A.



B.

Peltigera nigripunctata Bitter $\times 11/15$

A. Specimen collected in Mt. Yatsugadake.

B. Specimen collected in Mt. Mitsumine.

Peltigera nigripunctata Bitter¹⁾ was only known in Japan from the type locality Hokkaido (Jesso), though it was afterwards reported from Yunnan, China²⁾.

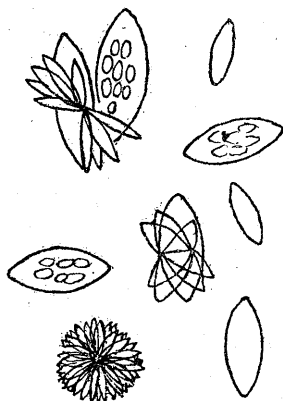
1) Bitter, Ber. Deutsch. Bot. Ges., 27: 194 (1909).

2) Gyelnik, Ung. Bot. Blätter, 1927: 45.

Recently the writer has found in his herbarium among *Peltigera horizontalis* two specimens from Central Hondo: Mt. Mitsumine, Prov. Musashi, Jun. 6. 1925, leg. Y. Asahina and Mt. Yatsugadake, Prov. Shinano, May 30. 1926, leg. Y. Asahina. These specimens are much smaller than *P. horizontalis*, and their gonidia are protococcoids and bear wartlike cephalodia upon the surface as well as on the underside, by which the identification may be justified.

§ 89. **Eine neue Reaktion von Thamnolsäure** (タムノール酸の一新反應).

Wird eine Spur Thamnolsäure unter Deckglas auf dem Objektträger mit einem Tropfen G. A. o-Anis.-Lösung (Glycerin 2+Alkohol 2+ortho-Anisidin 1) durchgenässt und gelinde erwärmt, so kommt das Reaktionsprodukt in Form von gelben, spindelförmigen dünnen Blättchen zum Vorschein. Die Oberfläche der einzelnen Krystalle werden bald durch Verwachsen von später ausgeschiedenen Krystallen uneben. Nach einiger Zeit treten die Krystalle sehr oft drüsenartig zusammen und sehen warzig aus. Beim Anwenden der Reaktion zum Flechtenthallus müssen die Fragmente desselben zunächst mit kochendem Benzol von Usninsäure oder von Atranorin befreit werden. Die so behandelte Fragmente werden dann mit heissem Aceton extrahiert und dass getrocknete Extrakt wird wie oben mit G. A. o-Anis.-Lösung behandelt.



o-Anisidin-Verbindung der Thamnolsäure.

タムノール酸を期待する地衣を先づ熱ベンゾールで抽出しウスニン酸, アトラノリン等の夾雑成分を除き, 次に熱アセトンで抽出しアセトンを蒸発して乾燥する。此残留物の少量を硝子板上でデツキガラスで覆い兩板の接面から o-Anis. 液を浸潤させ暫く熱して放冷すると黄色, 微細の紡錘狀薄片が多量に出現する。其表面は直に粗雜となり又多數の薄片が放射狀に集合して簇晶となり疣狀となる。

□ 第 8 回太平洋學術會議

昨年開かれる豫定が延期されていた Eighth Pacific Science Congress は, 本年 11 月 16 日より 28 日までフィリッピン, ケゾン市 (Quezon City), フィリッピン大學構内で開催されることに定まつた。